

3 なたね

(1) 国際的ななたね需給の概要

○2008/09年度のなたね需給（予測）のポイント

なたねの供給面では、EU等で小麦の作付面積の拡大との競合もあるものの比較的良好な天候を背景に世界の生産量は増加が見込まれている。

需要面では、EU、カナダ等でバイオディーゼル需要の拡大に伴う搾油用需要の増加を中心に世界の消費量は増加が見込まれている。

期末在庫量については、生産量が消費量を上回ることから在庫が積み増しされ、期末在庫率も上昇するものの、依然として低水準であると見込まれている。

【生産量】

生産量は、EU、中国、カナダ等の主要生産国で増加することから、世界全体では前年度より4.7百万トン増加（9.9%）し、52.0百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.8百万トン上方修正されており、国別にはカナダ、オーストラリアが上方修正された。

【消費量】

消費量は、原油価格の高騰によるバイオディーゼル需要の増加などから油糧種子全般での需要増大により、EU等で搾油需要を中心とした増加が見込まれ、世界全体では前年度より2.2百万トン増加（4.4%）し、50.9百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.7百万トン上方修正されており、国別にはカナダが上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量（輸出量）は、前年度より0.6百万トン増加（7.3%）し、8.8百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではオーストラリアが生産量の回復により輸出量を増加させるが、逆にカナダは輸出量の減少が見込まれている。一方、輸入国では、生産国でもあるEUが域内の需要を満たすため、輸入量の増加が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.2百万トン下方修正されており、国別にはカナダ、ウクライナの輸出量が下方修正され、オーストラリアの輸出量とアラブ首長国連邦の輸入量が上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから、カナダ等で積み増しされ、世界全体では前年度より0.8百万トン増加（26.9%）し、3.6百万トンとなり、期末在庫率も7.0%まで回復する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、カナダで0.4百万トン上方修正したことによる。

表－1 世界のなたね需給

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	45.2	47.3	52.0	0.8	9.9
EU-27	16.1	18.3	19.0	-	3.8
中国	11.0	10.4	11.0	-	6.0
カナダ	9.0	8.8	9.8	0.4	12.0
インド	5.8	5.5	5.8	-	6.4
ウクライナ	0.6	1.1	2.4	-	118.2
オーストラリア	0.6	1.1	1.6	0.4	50.2
ロシア	0.5	0.6	0.7	-	10.8
消費量	46.5	48.7	50.9	0.7	4.4
うち搾油用	43.7	46.1	48.2	0.6	4.5
EU-27	16.5	18.8	20.1	-	7.2
中国	11.9	11.2	11.4	-	1.6
インド	6.4	5.9	5.9	-	0.2
カナダ	4.0	4.3	4.6	0.2	4.7
日本	2.2	2.2	2.3	-	2.8
パキスタン	1.1	1.1	1.3	-	17.0
メキシコ	1.1	1.2	1.3	-	4.2
貿易量	6.6	8.2	8.8	▲ 0.2	7.3
(輸出)					
カナダ	5.4	5.8	5.1	▲ 0.2	▲ 11.3
ウクライナ	0.5	0.9	2.0	▲ 0.2	116.2
オーストラリア	0.2	0.6	0.9	0.2	62.7
米国	0.2	0.4	0.4	-	▲ 18.8
EU-27	0.1	0.4	0.2	-	▲ 40.0
ロシア	0.1	0.1	0.1	-	12.0
アフガニスタン	0.0	0.1	0.1	-	34.0
(輸入)					
日本	2.2	2.3	2.3	-	2.2
EU-27	0.4	0.6	1.6	-	181.8
メキシコ	1.1	1.2	1.3	-	4.2
パキスタン	0.8	0.9	1.1	-	16.7
米国	0.6	0.9	0.7	-	▲ 16.7
中国	1.0	0.9	0.4	-	▲ 52.9
アラブ	0.3	0.5	0.6	0.2	14.6
期末在庫量	4.7	2.8	3.6	0.6	26.9
EU-27	1.7	1.4	1.6	-	15.5
カナダ	1.9	0.7	1.1	0.4	47.0
オーストラリア	0.3	0.2	0.4	0.1	58.6
日本	0.1	0.1	0.1	-	▲ 2.9
ロシア	0.1	0.1	0.1	-	32.9
米国	0.1	0.1	0.1	-	▲ 9.3
インド	0.5	0.1	0.1	-	▲ 50.0
期末在庫率	10.1%	5.8%	7.0%	1.1	1.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」

(2) なたねの主要生産・輸出国等の需給状況

ア カナダ

【需給状況】

カナダの生産量は、バイオディーゼル需要を背景としたなたね価格の高騰による作付け拡大や、単収の回復基調により、前年度より1.0百万トン増加(12.0%)し、9.8百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.3百万トン増加(4.7%)し、4.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、EU、中国等の他の主要生産国での生産量の増加に伴い前年度より0.7百万トン減少(▲11.3%)し、5.1百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.4百万トン増加(47.0%)し、1.1百万トンとなり期末在庫率も11.3%(3.9ポイント増)と増加する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量が0.4百万トン上方修正され、期末在庫量が0.4百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

カナダのなたねの作付けは5月頃から始まっており、現在生育期の段階である。6月から7月にかけて一部の生産地域で天候不順がみられるものの、概ね順調に生育しているとみられる。収穫期は8月中旬頃から10月上旬頃であり、昨年は8月に入ってから夏の高温乾燥天候により悪影響が出たことから、引き続き天候に注視が必要である。

イ オーストラリア

【需給状況】

オーストラリアの生産量は、小麦と同様に2年連続の干ばつの影響で低下していたが、0.5百万トン増加(50.2%)し、1.6百万トンとなり平年並みに回復する見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン増加(5.6%)し、0.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の増加に伴い前年度より0.3百万トン増加(62.7%)し、0.9百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.2百万トン増加(58.6%)し、0.4百万トンとなり期末在庫率も26.0%(4.0ポイント増)と増加する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量が0.4百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

オーストラリアのなたねの作付けは、4月中旬頃から6月下旬頃であり、一部地域で乾燥による作付けの遅れや縮小も見られたものの、作付けはほぼ順調に推移した。

なお、現在、生育期を迎えており、ニューサウスウェールズ州などの一部地域では、土壌水分の不足が懸念されていることから、主要生産地については、引き続き天候に関する注視が必要である。

我が国の輸入先国シェア 1位 (2007年数量ベース92.9%)
世界の生産量シェア 3位 (2008/09年度18.9%)
輸出量シェア 1位 (2008/09年度57.7%)

表-2 カナダのなたね需給 (市場年度: 8月~翌年7月)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	9.0	8.8	9.8 (10.1)	0.4	12.0
消費量	4.0	4.3	4.6 (4.5)	0.2	4.7
うち搾油用	3.6	4.0	4.2 ...	0.2	4.4
輸 出 量	5.4	5.8	5.1 (5.7)	▲ 0.2	▲ 11.3
輸 入 量	0.2	0.2	0.2 (0.2)	0.1	0.0
期末在庫量	1.9	0.7	1.1 (1.0)	0.4	47.0
期末在庫率	20.1%	7.4%	11.3% 9.9%	3.6	3.9
(参考)					
収穫面積(百万ha)	5.24	5.91	6.30 (6.30)	0.37	6.6
単収(t/ha)	1.72	1.48	1.56 (1.60)	▲ 0.03	5.4

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」,
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」,
「World Agricultural Production (July 2008)」
AAFC 「Grains and Oilseeds (July 2008)」

我が国の輸入先国シェア 2位 (2007年数量ベース 7.0%)
世界の生産量シェア 6位 (2008/09年度 3.1%)
輸出量シェア 3位 (2008/09年度10.1%)

表-3 オーストラリアのなたね需給 (市場年度: 12月~翌年11月)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	0.6	1.1	1.6 (1.7)	0.4	50.2
消費量	0.5	0.5	0.6 (0.6)	0.1	5.6
うち搾油用	0.5	0.5	0.5 ...	0.1	5.9
輸 出 量	0.2	0.6	0.9 (1.0)	0.2	62.7
輸 入 量	0.1	0.0	0.0 (0.0)	-	0.0
期末在庫量	0.3	0.2	0.4 (0.0)	0.1	58.6
期末在庫率	36.7%	22.0%	26.0% (0.0)	6.8	4.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.05	1.06	1.20 (1.24)	0.10	13.2
単収(t/ha)	0.54	1.00	1.33 (1.35)	0.24	33.0

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」,
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」,
「World Agricultural Production (July 2008)」
ABARE 「Australian crop report (June 2008)」

ウ EU-27

【需給状況】

EUの生産量は、EU共通農業政策(CAP)における小麦の生産調整面積が適用されない中で、転作作物である菜種の収穫面積が減少するものの、単収が温暖な冬の天候などにより増加することから前年度より0.7百万トン増加(3.8%)し、19.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、原油価格の高騰によるバイオディーゼル需要の増加などから搾油需要が増加し前年度より1.3百万トン増加(7.2%)し、20.1百万トンとなる見込みである。

EU域内需要の増加に伴い、輸出量は前年度より0.2百万トン減少(40.0%)し、0.2百万トンとなり、輸入量は前年度より1.0百万トン増加(181.8%)し、1.6百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.2百万トン増加(15.5%)し、1.6百万トンとなり期末在庫率も7.8%(0.6ポイント増)と増加する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

EUでは全般的には、比較的生育に適した天候であり順調に生育は進捗している。なお、現在、収穫期に当たるポーランドとドイツ東部については乾燥傾向が見られており、天候等に注視が必要である。

エ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、価格の高騰などにより作付意欲が高まり、前年度より0.6百万トン増加(6.0%)し、11.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度と同水準の11.4百万トンとなる見込みである。

輸入量は、生産量が回復することなどから0.5百万トン減少(▲52.9%)し、0.4百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

なたねは昨年10月に作付けされたが、今年初めの大寒波により主要生産地で被害を受けたが、開花期や成熟期の間、天候に恵まれたことから単収は回復している。なお、収穫は5月頃に終了している。

(世界の生産量シェア 1位 (2008/09年度36.6%)
輸出量シェア 5位 (2008/09年度 2.5%))

表-4 EU-27のなたね需給 (市場年度: 7月~翌年6月)

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	16.1	18.3	19.0 (18.1)	-	3.8
消費量	16.5	18.8	20.1	-	7.2
うち搾油用	15.6	17.9	19.2	-	7.5
輸 出 量	0.1	0.4	0.2	-	▲ 40.0
輸 入 量	0.4	0.6	1.6	-	181.8
期末在庫量	1.7	1.4	1.6 (0.8)	-	15.5
期末在庫率	10.0%	7.2%	7.8%	-	0.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	5.41	6.56	6.38 (6.19)	-	▲ 2.7
単収(t/ha)	2.97	2.79	2.98 (2.92)	-	6.6

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」、
OIL WORLD 「OIL WORLD Monthly (July 2008)」

(世界の生産量シェア 2位 (2008/09年度21.2%)
輸入量シェア 6位 (2008/09年度 4.5%))

表-5 中国のなたね需給 (市場年度: 10月~翌年9月)

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	11.0	10.4	11.0 (11.5)	-	6.0
消費量	11.9	11.2	11.4	-	1.6
うち搾油用	11.5	10.8	10.9	-	1.4
輸 出 量	0.0	0.0	0.0	-	0.0
輸 入 量	1.0	0.9	0.4	-	▲ 52.9
期末在庫量	0.0	0.0	0.0	-	0.0
期末在庫率	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.00	5.70	6.00 (6.82)	-	5.3
単収(t/ha)	1.83	1.82	1.83 (1.69)	-	0.5

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」、
OIL WORLD 「OIL WORLD Monthly (July 2008)」

オ インド

【需給状況】

インドの生産量は、単収が低下するものの収穫面積が回復する見込みであることから、前年度より0.3百万トン増加（6.4%）し、5.8百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度と同水準の5.9百万トンとなる見込みである。

輸出货量、輸入量とも貿易の実績はほとんどないが、代替としてのパーム油や大豆油等の他の食用油の輸入量が増加となる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年と同水準の0.1百万トンとなり、期末在庫率は0.9%（0.9ポイント減）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、わずかな変更である。

（世界の生産量シェア 4位（2008/09年度 11.2%））

表－6 インドのなたね需給（市場年度：10月～翌年9月）

（単位：百万トン）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	5.8	5.5	5.8 (6.4)	-	6.4
消費量	6.4	5.9	5.9 ...	-	0.2
うち搾油用	5.7	5.2	5.2 ...	-	0.0
輸 出 量	0.0	0.0	0.0 ...	-	0.0
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 ...	-	0.0
期末在庫量	0.5	0.1	0.1 ...	-	▲ 50.0
期末在庫率	7.7%	1.7%	0.9% ...	-	▲ 0.9
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.64	5.70	6.20 (6.40)	-	8.8
単収(t/ha)	0.87	0.96	0.94 (0.99)	-	▲ 2.1

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (July 2008)」